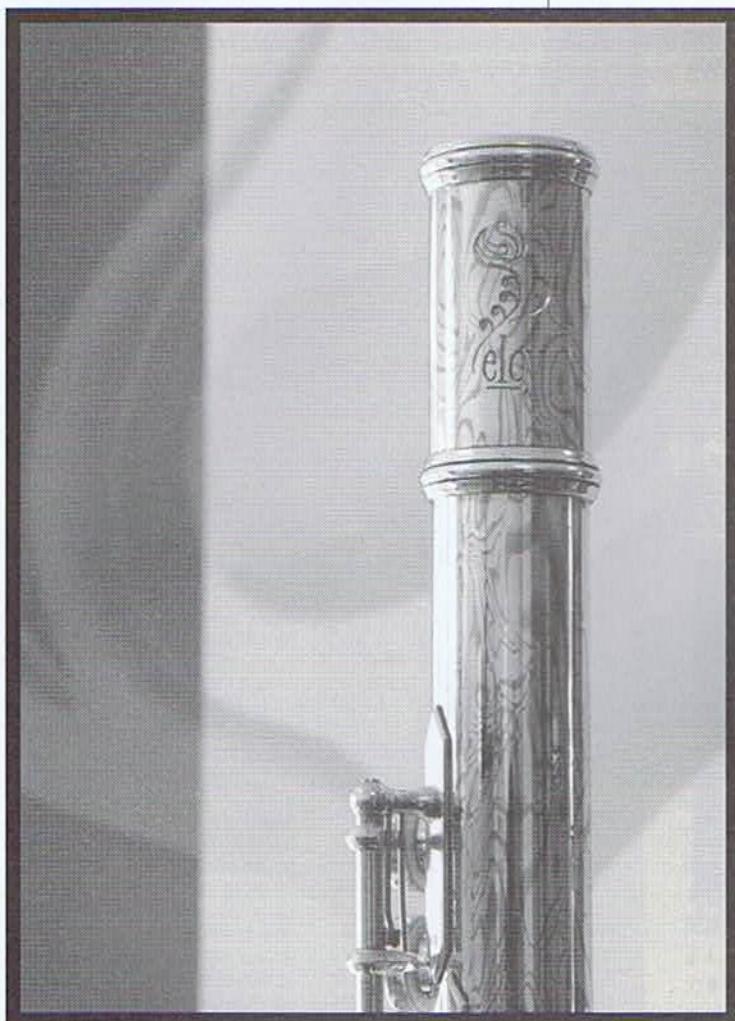


ELOY FLUTES

●エロイ・フルート「モクメウム[®]ハンドメイドフルート」



日本の伝統工芸技術「木目金」を使って作られたフルート初の管体。金と銀の響きの要素が併存……

●問い合わせ……株式会社World Frontier 電話：072-320-1566

同社のラインナップには他に管体14Kレッドゴールド、特別な配合の銀を使った管体ノーブルシルバー、管体925シルバーがある（いずれもキイは925シルバー）。独自の完全ビンレスメカニズムを開発し、ゴールド以外はすべて巻き管で作るなど、管体以外の細部にもこだわって製作している。

年の日本フルートコンペシヨンin滋賀で日本で初めて展示され、話題を呼んだフルート。カラー写真でお見せ出来ないのが残念だが、左の楽器はシルバーを基調とした中に、うつすらと金色の波模様が美しく浮き出ている。「モクメウム」メタルと名付けられた特殊な合金で作られた。開発したのはオランダのハンドメイドフルート工房「エロイ・フルート(ELOY FLUTES)」。

モクメウムの管体は、江戸時代からある日本の伝統工芸「木目金(全目金)」の技術で作られている。異なる金属を重ね、圧

一般には指輪や貴金属のアクセサリーに使われて模様が珍重されるが、フルートでは通常の合金とは異なる種類の素材から来る新しい音を得られるのがミソだ。エロイ・フルートでは、925シルバー75%と、14Kレッドゴールド、もしくは14Kバラジウムホワイトゴールド25%の2種類の組み合わせで作って



●上が925シルバーに14Kレッドゴールド、下が925シルバーに14Kバラジウムホワイトゴールドの「モクメウム」管体。模様は一本一本異なる。



●銀銀組工職人を目指して勉強し後にフルート作りに転じた代表のハリー・ヴァン・エカート氏。

いる。エロイ・フルートの日本輸入元(株)World Frontierの担当者は、「金と銀が混ざ物の合金としてではなく、それぞれの個性が一枚の板に並んで存在することで、金の持つ深みのあるフルサウンドと銀の特徴であるクリアで温かい音色を1本のフルートで実現することが出来ました」と解説する。

製作するのはオランダで金属加工技術を専門に学び、後にバウエルなどで腕を磨いて帰国、1990年に独立したハリー・ヴァン・エカート(代表)と妻のシリア・ヴァン・ウフェレンの二人。モクメウム・メタルは09年の全米フルートコンベンションで発表した。

●ゴールド管体で作り、トーンホールはすべてソルダード。